

未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策

(令和元年6月18日昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係閣僚会議決定)

【対策の主な柱(未就学児の安全確保関係)】 赤字は文部科学省の主な取組
未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検の実施
幼稚園分について調査中。9月末までに実施、10月中に結果の概要を集約。

12月19日集計結果を発表。

地域ぐるみで子供を見守るための対策等

スクール・ゾーンの設定の推進について6月27日付で教育委員会等に依頼。

幼児の通園路や園外活動中における見守り活動の充実。

小学校の通学路の合同点検(継続)

文部科学省、警察庁、国土交通省の連携の下実施した小学校の通学路の合同点検を継続実施。

川崎市における児童等殺傷事件を受けた政府の取組(令和元年6月25日犯罪対策閣僚会議)

【対策の主な柱】 赤字は文部科学省の主な取組

全容解明と情報の共有

通学路の安全確保

集合場所等の危険個所の点検(スクールバスの乗車場所等について全国の小中学校で点検を実施 等)

警備・見守り活動の強化(スクールガード・リーダーの増員、見守り活動時に必要な装備品の配備)

防犯教室の推進(警察・NPOとも連携した防犯教育の推進 等)

保護者の不安解消に向けた取組(通学中の児童生徒の所在や状況を保護者が把握するための方策の検討・推進)

不審者情報の共有と迅速な対応

その他の取組

私立学校を含む学校安全確保対策の推進(SPS等の先進事例も参考にした取組の推進 等)

安全確保に関する調査研究(登下校時における安全確保についての海外事例等の調査)

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

令和2年度予算額(案) 338百万円
(前年度予算額 119百万円)



文部科学省

学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

実施主体:都道府県及び市町村

補助率:国庫補助率1/3、都道府県、市町村各1/3 市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダー増員による見守りの強化

スクールガード・リーダー(SGL)の空白地帯の解消に向け、現行の1,700人体制から4,000人体制へ増員

スクールガード・リーダーの資質を備えた人材(警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等)に対する育成講習会の実施(年間1地域10回開催)

スクールガード・リーダーに対する活動支援

スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助

装備品の充実(防刃ベスト等)

学校等の巡回活動等を円滑にするため、スクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援(全市町村)

スクールガード(ボランティア)の養成・資質向上

通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施(年間1地域10回開催)

最新の安全に関する情報、不審者情報の共有

スクールガードに対する活動支援

通学路や学校で子供の見守り活動の強化を図るため、「登下校防犯プラン」等に基づく防犯活動への支援(全市町村)

[活動例]

- ・防犯訓練の実施・通学安全マップの作成・登下校時のパトロール・地域の連携の場構築



スクールガード・リーダー、スクールガードについて

【スクールガード・リーダーとは】

各自治体の教育委員会から委嘱された防犯の専門家（警察官OBや教職員OB）で、専門知識を活かした学校への巡回活動の指導を実施（補助対象）謝金、旅費、保険料

【スクールガードとは】

地域住民や生徒の保護者等のボランティアで、スクールガード・リーダーの指導を受けながら、通学路などの巡回パトロールや危険個所の監視等を実施（補助対象）保険料のみ

活動による成果等

地域ボランティアの拡大

学校内外において、地域のボランティア等による巡回・警備が行われている学校の割合について、平成16年度（本事業実施前）は49.3%のところ、平成17年度（本事業開始）は63.1%と大幅に増加、それ以降本事業による推進により、平成27年度においても、66.1%を維持している。

学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査（平成27年度実績）

犯罪発生状況

子供（13歳未満）に対する被害件数の推移をみると、本事業実施前の平成15年から平成16年にかけては-1,333件、本事業実施後の平成17年にあっては前年比-2,595件と約2倍の減少を見せている。

16年から17年にかけては、ボランティアの巡回・警備も大幅に増加した年である背景を考慮すると、被害減少の一翼を担っていることも十分考えられる。

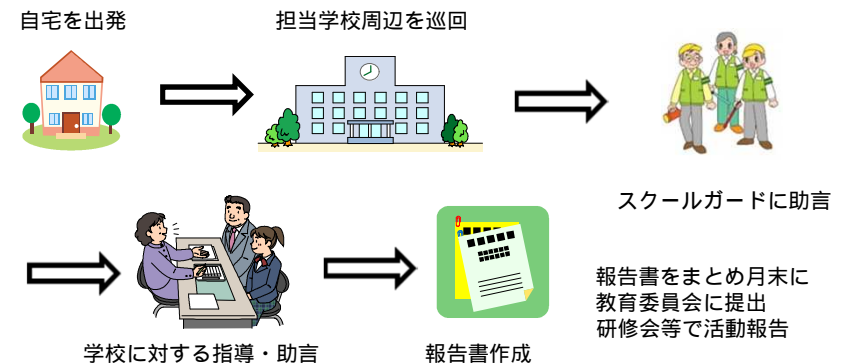


出典:警察庁 警察白書

スクールガード・リーダーの役割

- ・各学校を定期的に巡回し、学校に対する警備のポイントや改善すべき点等の指導と評価を行う。
- ・スクールガードに対し養成講習会や巡回中に警備上のポイントや不審者対応等についての具体的な指導を行う。
- ・教職員OB等を対象にSGL育成講習会を実施し、人材確保を図る。
- ・意見交換する場を設け、家庭・地域との連携の場を構築する。
- ・パトロール、防犯訓練、通学安全マップ作成などの企画、指導を行い防犯意識の醸成を図る。

【スクールガード・リーダーの1日の活動（一例）】



地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の実績・成果 (平成30年度)

徳島県 【スクールガード・リーダーの取組】

【活動内容】

徳島県では、総数約14,000人の学校安全ボランティア（スクールガード）を全ての小学校区に配置し、登下校時における見守り活動を実施している。スクールガード・リーダーは、見守り活動への助言・指導を行ったり、スクールガードの養成講習会を開いたりするなど、通学路の安全体制確立のために重要な役割を果たしている。



【好事例：藍住町】

児童下校時の不審者被害を防止するため、スクールガード・リーダー4名と見守り巡視員9名が、原動機付自転車で通学路のパトロールを実施している。活動日は毎週月曜日から金曜日で、1回のパトロールにつき4人で活動している。巡視活動は広く児童・学校・地域に認知されており、パトロールと声かけで、児童の安全な下校に貢献した。

山梨県 【身延町スクールガード・リーダーの取組】

【活動内容】

通年の活動（通学路の巡回 安全点検 通学班への同行見守り 重点場所への定点見守り 通学路の環境浄化安全面のほかに、環境面に配慮し、通学路を良好な状態へ整備 関係者との情報共有・指導）

様々な活動（交通安全教室で講師として、交通ルールや交通安全についての体験学習 防犯教室に出席（不審者からの声掛け、連れ去り対応訓練） 地域ボランティアグループとの連携（総会・対面式に出席し、報告や意見交換））



ボランティアグループ「下山小学校子ども見守り隊」

【目的】下山小学校地域の児童生徒の安全確保を図り、健全育成に資する

【活動内容】

- ・登下校時、通学路等で児童生徒を見守り、ふれあい、声掛けをする
- ・通学路等の安全点検に努め、危険箇所をなくすために提言する（平成28年度文部科学大臣表彰「学校安全ボランティア活動奨励賞」受賞）

鳥取県 【スクールガード・リーダーの取組】

【活動内容】

登下校時の見守り活動（伯耆町）
児童生徒の登下校時に見守り活動を行うとともに、学校を定期的に巡回し、児童生徒に安全指導を行っている。
不審者侵入に備えた防犯訓練活動（大山町）
学校等が実施する児童生徒、教職員を対象とした不審者侵入防犯訓練に参加し、児童生徒、教職員に指導助言を行っている。



スクールガード・リーダーによる見守り活動

【成果】

見守り活動について
活動を積み重ねることで、防犯面でも抑止力が働き、児童生徒が安全に過ごすことができています。
防犯訓練活動について
専門家としての知識と経験を生かした的確な指導と自らが不審者役となり防犯用具を使用した制圧訓練を行うことで、職員が有事の際に躊躇無く行動できるようになっている。

神奈川県川崎市 【スクールガード・リーダーの取組】

【活動内容】

- ・定期的な巡回指導
- ・学校内の防犯対策に関わる指導・助言
- ・スクールガードの指導育成
- ・連絡協議会への参加



【成果・好事例】

本市のスクールガード・リーダーは20名配置しており、すべて警察官OBによって構成されているため練度も高く、交通危険箇所の交通整理、学区を巡回しての不審者等への対策、安全体制の構築のための学校への指導・助言等の様々なことを行えるため学校からも感謝の声が上がっている。

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の実績・成果 (平成30年度)

鹿児島県【スクールガード・リーダーの取組】

【活動内容】

- 登下校時間の児童生徒の見守り活動。
- 各学校のスクールガードへのアドバイス。
- 危険箇所や児童生徒の様子について学校への助言。
- 交通安全や生活安全に係る「地域連携の場」の会議への出席。
- 各学校で行われる防犯教室への参加・協力。
- 学級活動や保健の授業へのアドバイザーとしての参画



【成果・好事例】

- 子どもたちの見守り活動はもとより、自分たちの地域は自分たちで守るという気風を作る核となっている。
- 子どもたちが笑顔で安心して登校できる環境づくりに大いに貢献している。
- 学校の防犯教室への参加や情報提供などを通して、地域と学校をつなぐ大切な役割を担っている。

広島市【地域学校安全指導員（SGL）の取組】

【活動内容】

- 学校安全体制、学校施設の現状把握
- 学校安全上の問題点の分析と対応策の指導
- 教職員との協議・研修
- 学校安全ガードボランティア(スクールガード)の研修
- 地域の見守り活動者への支援 ほか



中学校教員に対する不審者対応訓練の様子（市内全ての中学校から1名参加）

【成果・好事例】

不審者が頻繁に目撃されたり、児童生徒等の安全を脅かすような事件が発生した場合は予定を変更し、その地域にスクールガード・リーダーを緊急派遣し、見守りの強化などの対応を図り、事件の未然防止や、児童生徒等・保護者の不安解消に努めている。「不審者対応の手引き」を作成した。

札幌市【スクールガード・リーダーの取組】

中の島小学校【主な取組】

- ・定期的な訪問や、世の中を震撼させる事件の後に訪問をし、啓発活動を行う。（来校時は青色灯を回して駐車）
- ・日常から児童に声をかけ、顔と名前を覚えてもらい、事件・事故から身を守る手立てを児童に伝えている。
- ・全校朝会で全校児童に紹介し、話をしていただき、活発に活動しやすくする。

【成果】

- ・児童、保護者、地域住民に知っていただき、安心して登下校し、過ごすことができている。
- ・青色灯で駐車し、声かけを行うことが事件、事故の抑止力につながっている。



上白石小学校【主な取組】

- ・月末の児童の下校時刻合わせた通学路の見回りに加え、他県で起きた重大事件の後や、荒天が予想される前なども臨機応変に見守りに取り組んでいる。
- ・全校朝会やPTA行事などにも参加することで、児童や保護者から認知されるように努力している。
- ・通行量の多い道路での見守りや声掛けにも力をいれて活動を行っている。

【成果】

- ・通行量の多い道路から「抜け道」としてスクールゾーンに侵入してくる車両に対して、注意力が増してきている。
- ・児童に「自分の安全を守ってくれる人」という意識がはぐくまれてきており、通学時の安心感が高まっている。

コミュニティ・スクール、地域学校協働本部と連携した学校安全の取組

☀️ 安全教育において、地域と学校の連携・協働体制の構築は重要 ☀️

「地域学校協働活動」：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

- ◆ 学校と地域が一体となって防災・防犯・交通安全に取り組むことができる
- ◆ 教育課程内の取組においても、地域の力を生かした授業づくりが可能になる

学校（コミュニティ・スクール）

学校運営協議会を設置している学校を指す。

学校運営協議会

学校運営への必要な支援に関する協議を行う合議体。地域の実情に応じて防災・防犯・交通安全も協議され得る。

<主な役割>

- 校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること



保護者、地域学校協働活動推進員、地域住民など

授業づくりなど

「総合的な学習の時間」等の授業において、地域住民や消防署・消防団等の専門家と連携し、出前授業などを通じて防災・防犯・交通安全教育を実施。

- ・地域と学校の協働による防災マップや地域安全マップの作成
- ・学校内の安全点検への協力

地域と学校が連携した安全教育の実現（地域学校協働活動）

地域と学校の協働による防災訓練、防災キャンプの実施

地域の防災訓練と学校の防災訓練を合同で実施。引き渡し訓練、防災かまどづくり、炊き出しシミュレーション等を地域住民と子供たちがチームとなって実施。

実際に災害が発生した際に、学校が避難所となる場合において、発災直後の教職員による一時的な運営から住民・防災部局のスムーズな移行が可能になる



連携・協働



地域学校協働本部

地域学校協働活動を推進するための幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワーク



地域学校協働活動推進員

（地域と学校をつなぐコーディネータ）
退職教職員、PTA経験者などその地域と学校の実情を理解している人。



消防署、消防士、消防団員、保護者・地域住民・企業・NPO等の様々な人・団体など

実践的な防災体験学習

消防署や消防団等の専門家の協力の下、防災体験活動（起震車体験、ペットボトルろ過器の作成、ロープワーク体験、AED体験等）を実施。

防犯・交通安全の取組

地域住民による登下校の見守り 等



学校安全ポータルサイト「文部科学省×学校安全」

文部科学省の学校安全に関する施策をまとめたポータルサイト。
事務連絡や研修会などの最新情報とこれまでの取組事例、調査結果などを掲載。
都道府県や他省庁が作成した学校安全関係資料も掲載。

アクセスランキング(12月)

- 1位:「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育
- 2位:学校の危機管理マニュアル作成の手引
- 3位:学校事故対応に関する指針(概要版)

「危機管理マニュアル作成の手引」など
学校安全資料



文部科学省作成資料・取組・事業

学校安全推進のための参考資料や、全国で実施している取組・モデル事業等を掲載。

- > 学校安全参考資料
- > 映像資料
- > 全国での取組・モデル事業



今月のニュース

学校安全に関する全国の実践や、文部科学省からのお知らせなどを紹介。

- > 令和元年8月号 職員だより
- > バックナンバー

文科省からのお知らせを毎月更新



表彰制度

内閣総理大臣表彰や文部科学大臣表彰、その他関係省庁が実施している学校安全コンクールを紹介。

- > 安全功労者内閣総理大臣表彰
- > 学校保健・安全文部科学大臣表彰

学校安全
功労者の紹介



研修会情報

防災教育、学校安全に関する公開授業・セミナーの開催情報を紹介。

- > 健康教育・食育行政担当者連絡協議会
- > 全国学校保健・安全研究大会
- > 学校安全総合支援事業
- > 学校安全教室推進事業
- > 都道府県・政令市
会・セミナー

都道府県の研修会
情報や文科省主催の
研修会資料

「学校安全ポータル
サイト」で検索!



<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/index.html>